

景気動向調査 令和5年5月分（令和5年5月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

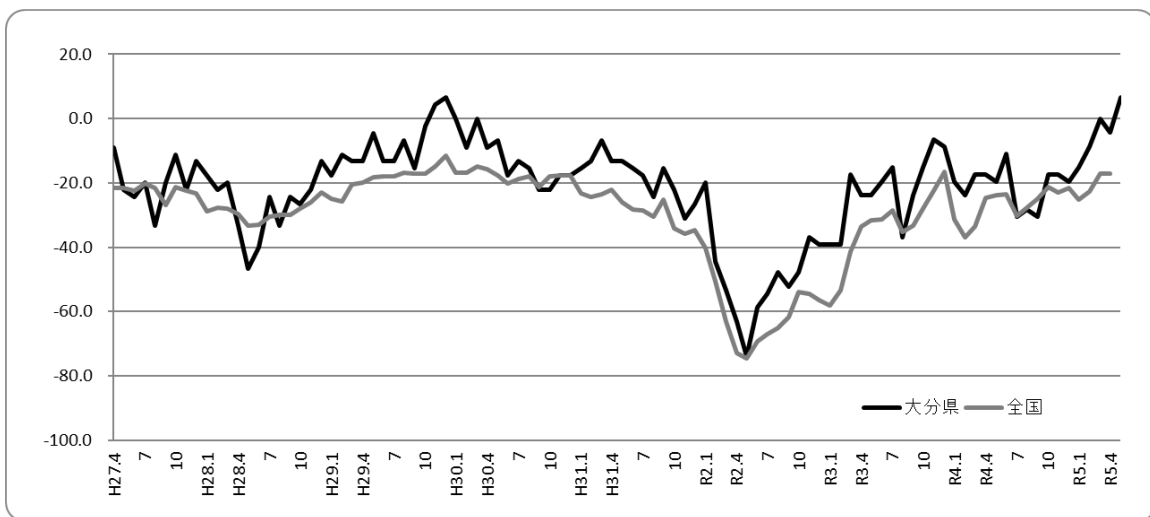
この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

【5月の景況】

5月のDIは、9指標のうち、5指標が好転、2指標が悪化、2指標が変わらずという結果となった。主要3指標は、すべての指標が好転しプラスに転じている。先月と比較して、売上高DIが2ポイント増加、収益状況DIが21ポイント好転、景況感DIも10.8ポイント好転となっている。

大分県内の状況は、非製造業を中心にイベント開催や旅行需要の復調などにより、景気が上向くと予想が聞かれた。また、製造業を中心に、人手不足の声が引き続き寄せられている。

なお、原油や原材料の価格高騰による価格転嫁を受けて、販売価格DIは続伸しており、依然+39ポイントと高い水準にある。



景況感 DI 値

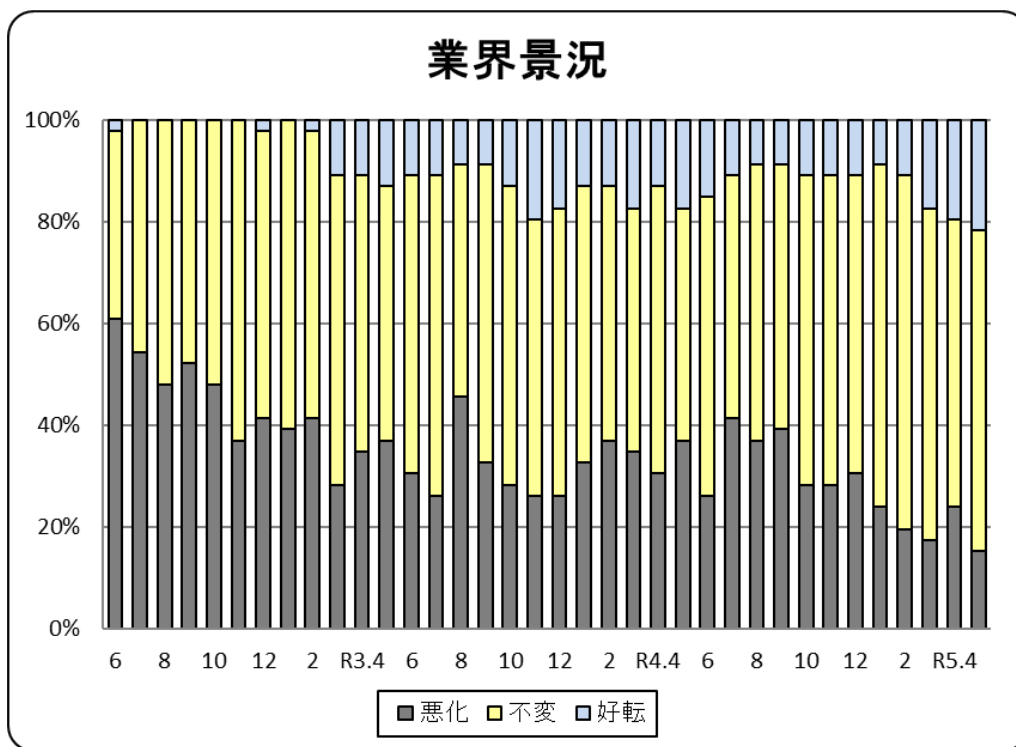


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

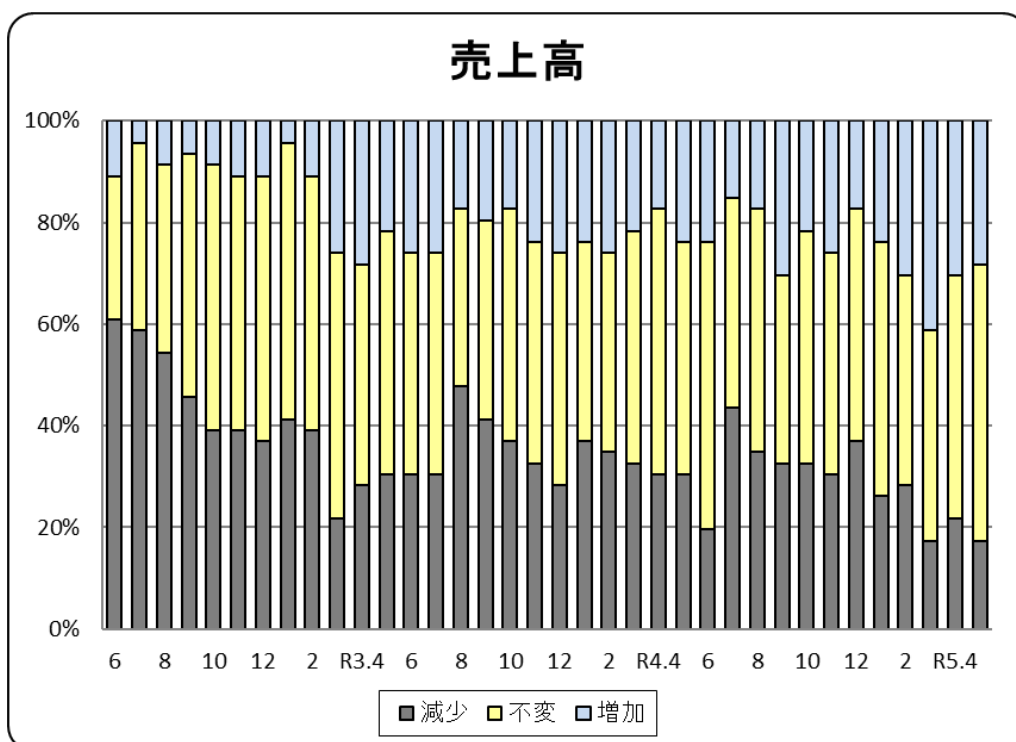
【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値は、前月より2ポイント増加して+11ポイント。収益状況DI値は、+4ポイントで前月より21ポイント好転。雇用人員DI値は、△4ポイントで前月より2ポイント悪化となった。

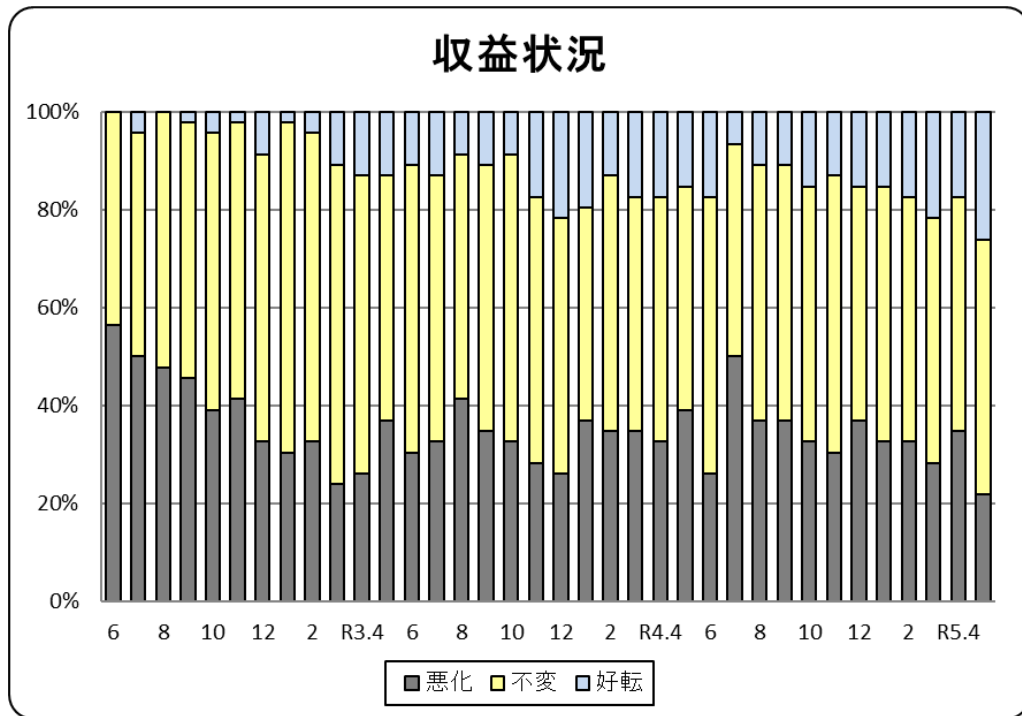
景況の動向は、好転は10組合、悪化は7組合であった。DI値は+6.5ポイントで前月から10.8ポイント好転。割合で見ると、好転22%、不変63%、悪化15%であった。なお、製造業の景況感DI値は△6ポイント、非製造業の景況感DI値は+14ポイントであった。



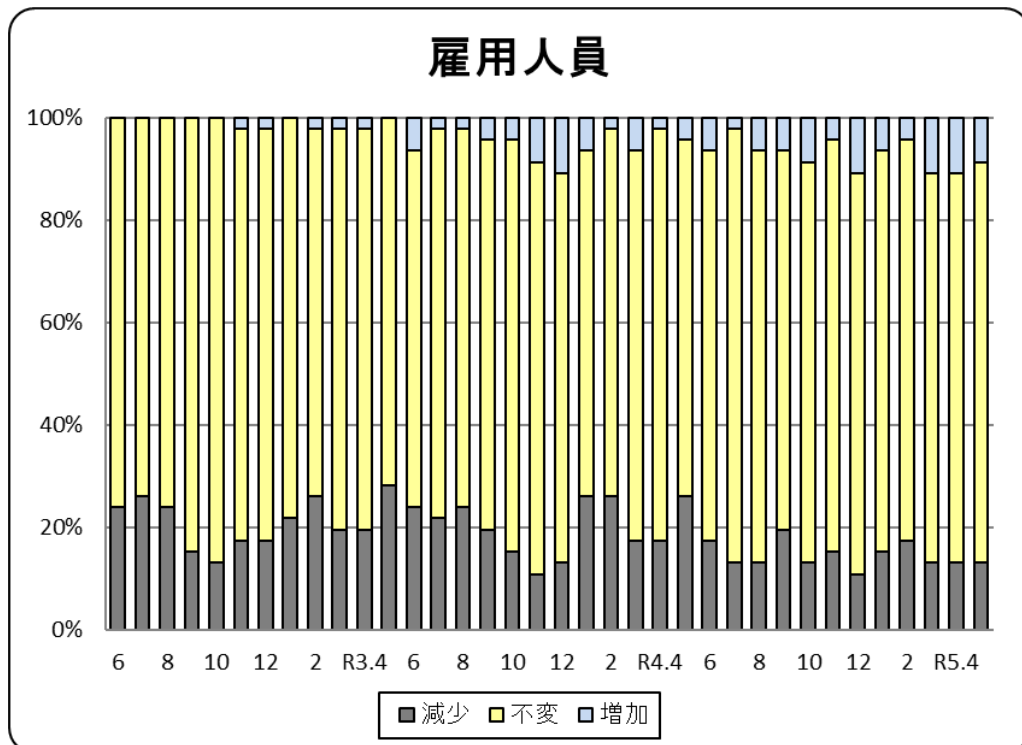
売上高の動向は、増加は13組合、減少は8組合であり、DI値は+11ポイントで前月から2ポイント増加。割合で見ると、増加28%、不変54%、減少18%であった。



収益状況の動向は、好転した組合は12組合、悪化と回答した組合は10組合であった。DI値は+4ポイントで前月から21ポイント好転。割合で見ると、好転26%、不変52%、悪化22%であった。



雇用人員の動向は、増加は4組合、減少は6組合であった。DI値は△4ポイントと先月から2ポイント減少。割合で見ると、増加9%、不変78%、減少13%であった。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数-減少・悪化組合数)÷調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

